

#6エレミヤ書において啓示されている、神と一になることの原則^{10/12-18} **OL Summary:** **I.** 神が人と一になり、人が神と一になるという神の願いは、神と人がかたちと姿において似ていることに見ることができます。 **A.** 神の創造において、神によって創造された「人類」というのではありません。むしろ、神が創造したものは、ご自身の種類、神の種類に似ていました。神は命の息を人に与えて、霊を創造しました。それは、人が神と接触し、神を受け入れるためです。 **B.** 三人の人が、創世記18:2~13において、アブラハムに現れました。この三人のうちの一は、キリスト、すなわちエホバであり、その他の二人は御使いでした。神が肉体と成ることの二千年前に、ご自身の友アブラハムに訪れた時、人として現れたということです。 **C.** 神の御使い(神、エホバ、神の人—キリスト)は、キリストが肉体と成ることの前に、マノアとマノアの妻に現れました。 **D.** ダニエルは、キリストが肉体と成ることの前に、人の子としてのキリストのビジョンを見ました。ダニエル7:13-14によると、ダニエルは、天の雲に乗って来た人の子を見ました。さらに、人の子は日の老いた方(永遠の神)のもとに来て、彼の御前に導かれました。この方に主権、栄光、王国が与えられたので、諸民、諸国、諸言語の者たちはすべてこの方に仕えるべきです。 **E.** アダムは、キリストの予表、型でした。 **F.** キリストは、見えない神のかたちです。 **G.** 言(神)は、肉体と成り、罪の肉の様で来ましたが、肉の罪を持っていませんでした。 **H.** 神の形の中に存在しているキリストは、肉体と成ることにおいて、奴隷の形を取り、人の姿になられて、人としての有り様で見いだされました。 **I.** ステパノは、天が開けて、人の子が神の右にいるのを見ました。キリストが昇天した後、彼はなおも人の子です。 **J.** 「あなたがたは、人の子があの方[神]の右に座し、天の雲に乗って来るのを見る」(マタイ26:64)。主イエスが再来する時、彼はなおも人の子です。 **K.** 「神があらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです」(ローマ8:29)。私たちは、御子が復活して私たちをご自身の多くの兄弟たちとすることによって、新しい種類、「神・人の種類」となりました。 **L.** 「私たちはみな、主の栄光をおおいの顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです」(II コリント3:18)。「思いが新しくされることによって造り変えられなさい」(ローマ12:2a)。 **M.** 「曲がったよこしまな世代のただ中で、責められるところのない、たくらみのない、すなわち傷のない神の子供たちとなり、彼らの間で世にあって発光体のように輝き」(ピリピ2:15)。 **N.** 主イエス・キリストは、万物を彼ご自身に服従させることができる彼の活動によって、私たちの卑しい体をも変貌させ、それを彼の栄光の体に同形化します。 **O.** キリストが現れる時、私たちは全く、完全に、絶対的に彼ようになります。なぜなら、私たちは、彼がそうであるように、彼(神)を見るからです。 **P.** 「座している方[神]は、碧玉…のようであり」(啓示録4:3)。 **Q.** 新エルサレムの光は、啓示録21章によれば、最も尊い宝石のようであり、碧玉のようです。神が人と成ったのは、神格においてではなく、命と性質において人を神とし、神であるのと同じにするためであるという真理を教え、宣べ伝えています。この真理を聞くことは大きな

祝福です/私たちの日常生活のすべての詳細において神・人の生活をするには、歴史上決して見られたことのない、新しい復興をもたらします。この事は、この時代を終結させます。 **II.** エレミヤ書は、神と一になることの原則を私たちに示しています。 **A.** 神と一になることの原則は、命の木の原則であって、善悪知識の木の原則と相対しており、この事は、神の民の二つの基本的な罪を啓示している、エレミヤ2:13で見られます。罪とは、神を捨てて、自分自身で、自分自身のために何かを行なうことです。 **B.** 神は人を命の木の前に置きました。この事が示しているのは、神が人と一になるという願い、神が人の命、命の供給、すべてとなるという願いです。私たちは霊を活用することによって、すべての祈りと願い求めによって彼の言葉を受け取るとき、命である霊を得ます。 **III.** 私たちは神の言葉を取り入れ、受け取り、守るために、絶対的に彼と一にならなければなりません。 **A.** ゲダリヤの事例は、神と一にならなかった人の事例です。ゲダリヤは忠信に神の預言者エレミヤを顧みましたが、主の言葉を尋ね求めませんでした。神の言葉は、神の思想、神のみこころ、神の心の願い、神の大いなる喜びの表現です。私たちは神の言葉を取り入れ、受け取り、守るために、絶対的に神と一になり、彼に信頼し、彼に依り頼み、自己から出てくる何の意見も持たないようしなければなりません。 **B.** 「もし、あなたが価値のないことを言わず、尊いことを言い出すなら、あなたは私の口のようになる」(エレミヤ15:19)。私たちは主の言葉を地上のすべての富よりも尊ばなければなりません。それは、私たちが神の託宣を語って、キリストの計り知れない豊富を神のさまざまな恵みとして、すべての聖徒たちに分与することができるためです。 **IV.** イスラエルの失敗と敗北のかぎは、彼らが神の臨在を失っていて、もはや神と一でなかったことでした。私たちは、私たちの神と常に一になるべきです。神は私たちの間にいるだけでなく、私たちの中にもいて、私たちを、神を持つ人、神・人とします。 **A.** 私たちは神・人として、主と一になり、彼と共に歩き、彼と共に生き、完全に彼と共に存在することを実行すべきです。これが、クリスチャンとして歩き、神の子供として戦い、キリストのからだを建造する道です。もし私たちが主の臨在を持ち、主と一になるなら、知恵、洞察力、先見性、事物に関する内なる認識を持つようになります。 **B.** 神に対して罪を犯すことでのイスラエルの子たちのかたくなさは、彼らが神と一にならなかったことによりました。もし彼らが神と一であったなら、神の言葉を受け取り、神の心、神の性質、神の思い、神の定められた御旨を認識したでしょう。 **C.** 神と一にならない者たちは、彼のみこころと大いなる喜びを取り入れず、自分の意見を言い表し、自分の好みを追い求めます。こうすることは、生ける水の源、源泉としての神を捨てて、水をためることができない壊れた水ためを掘ることです。 **V.** 私たちは神と一になるために、キリストを私たちの贖いまた義認となるダビデの若枝として必要とします。この事は、三一の神を私たちの中へともたらして、私たちの命、私たちの内なる命の法則、私たちの能力、私たちのすべてとならせて、ご自身を私たちの存在の中へと分与し、ご自身のエコノミーを遂行させます。これが新しい契約です。最終的に、私たちは神を認識し、神を生き、神格においてではなく、命と性質において神となります。それは、私たちが新エルサレムとなるためです。

CP1:神を受け入れ、神を表現することが神のエコノミーである。あなたの実生活を神のエコノミーに結び付ける

OL1:神が人と一になり、人が神と一になるという神の願いは、神と人がかたちと姿において似ていることに見ることができます。創1:26 神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう…。

OL2:神の創造において、神によって創造された「人類」というのはありませんでした。むしろ、神が創造したものは、ご自身の種類、神の種類にしたがっていました。神は命の息を人に与えて、霊を創造しました。それは、人が神と接触し、神を受け入れるためです。

OL3:私たちは…、神が人と成ったのは、神格においてではなく、命と性質において人を神とし、神であるのと同じにするためであるという真理を教え、宣べ伝えています。この真理を聞くことは大きな祝福です。

創世記1章は、神はすべての魚、鳥、獣、家畜を、その種類にしたがって創造されたと告げています。神はすべてのものをその種類にしたがって創造しましたが、「人類」を創造されませんでした。

神が「人類」を創造されなかったなら、人は何の種類にしたがって創造されたのでしょうか？ 創世記 1:26 は、人は神の種類にしたがっていることを示しています。「われわれ[神聖な三一]のかたちに、われわれの姿にしたがって人(ヘブル語、「アダム」、赤い土くれを意味する)を造ろう」。

ダニエルは、天の雲に乗って来た人の子のビジョンを見ました。さらに、人の子は日の老いた方(永遠の神)のもとに来て、彼の御前に導かれました。この方に主権、栄光、王国が与えられたので、諸民、諸国、諸言語の者たちはすべてこの方に仕えるべきです。…ダニエルは、キリストが肉体と成ることの前に、人の子としてのキリストのそのようなビジョンを見ました。

私たちが自分自身を神・人であると考えるとき、この考え、この認識は、私たちの日常の経験において私たちを大変革します。例えば、ある兄弟が自分の妻に幸いでないといいます。しかし彼は、自分が神・人であることを思い出して、直ちに彼の態度は変わります。それから彼は、神・人の夫であることを願うようになります。

神が一群れの神・人を欲しておられると聞いた後、どうしてあなたは他の何かであることに満足することができるのでしょうか？ あなたは何になりたいのでしょうか？ あなたは典型的な中国人や、典型的なアメリカ人になりたいのでしょうか？ あなたは単なるクリスチャンや、キリストにある信者になりたいのでしょうか？ 私たちはみな、神・人の生活をしたいですと宣言すべきです。最終的に、神・人たちは勝利を得る者、勝利者、エルサレムの内側のシオンとなります。これは歴史上決して見られたことのない、新しい復興をもたらします。この事は、この時代を終結させます。

適用: 新人及び青少年・大学生編

あなたは三一の神、父・子・霊のかたちに従って創造されました。それは、あなたの内側に神を受け入れ、神を表現するためです。これが神のエコノミーの基本的概念であり、あなたの人生の意義です。あなたはこのビジョンを実生活にしっかり適用してください。

例えば、あなたの勉強や部活において、「おお主イエ

スよ、私は勉強や部活で、内側を空にして主に開き、主で満たしていただきたいのです。そして、内側から主が流れ出て主を大きく表現できますように！これが私に対する、あなたのご計画であり、私の人生の意義です。私を自分の欲、高ぶりや野心に従って勉強や部活をすることから救ってください。神のエコノミーに従って自分の分を果たすことができますように。神のエコノミーのビジョンが私の勉強と部活を支配してください」と祈ってください。あなたが信仰の霊を活用してこのように祈る時、主は大変喜んでおられます。決して、神のエコノミーのビジョンに従った生活を送ることは、自分にとってはあまりにも難しすぎると考えないでください。あなたは未だ慣れてないかもしれませんが、祈れば祈るほど、あなたはこのビジョンを実生活に適用することができるようになります。なぜなら、神がこの事を計画し、今、聖霊がこのことをあなたに適用しようとしておられるからです。ローマ 8:26 さらに、同じように、その霊も私たちの弱さを担って助けてくださいます。なぜなら、私たちはどのように祈ったらよいのかわからないのですが、その霊自ら言い難いうめきをもって、私たちのためにとりなしてくださるからです。あなたは主の中で良く考慮して、三一の神の働き、御父の選び、御子の贖い、聖霊の適用する働きに逆らった生活をしないようにしてください。

エレミヤ17:7 エホバに信頼し、その信頼がエホバである者は幸いである。8 彼は水のほとりに移植された木のようになり、その根を川のそばに伸ばし、暑さが来ても恐れなく、その葉は茂ったままで、干ばつの年にも心配することはなく、実を結ぶことをやめない。9 心はすべてのものにまさって偽るもので、それはいやされることはない。だれがそれを知ることができよう？ FN「水のほとりに移植された木」:神のエコノミーによれば、神に信頼する者は、水のそばに植えられた木のようです。これは、神が生ける水の源泉であることを表徴します。木は川のほとりで、水のすべての豊富を吸収することによって生長します。これは神の分与によって完成される神のエコノミーの絵です。木としての私たちは神聖な分与を受けるために、水としての神を吸収する必要があります。供給する神の豊富は、木としての私たちの中へと分与され、神の神性をもって私たちを構成し、神の度量へと成長させます。このようにして私たちと神は一となり、同じ要素、本質、構成、外観を持ちます。FN「偽る」:欺き、いやされることのない人の心についてのこの言葉でさえ、神のエコノミーと彼の分与と関係があります。人の心は腐敗し、欺き、その状態はいやされることがありませんが、そのような心でさえ、神が彼の命の法則を書く板とすることができます。これは、神にはご自身を人の中に分け与える道があることを啓示します。いったん神が人の中に入るなら、人の霊から人の心へと広がります。これが神のエコノミーに従って、墮落した人の心に対処する神の道です。

あなたの心は偽り欺きます。あなたはこの事を知り、認め、高ぶりから救われる必要があります。しかし、あなたは落胆してはいけません。神の分与は、あなたの心を栄光から栄光へと徐々に造り変えることができます。あなたの実生活を神のエコノミーのビジョンに結び付けてください。そうすればあなたは祝福されます。

CP2:御言葉を常食し、主の言葉に完全に開くことによつて、主と一つになり、主を表現し、主に仕える

OL1:エレミヤ書は、神と一になることの原則を私たちに示しています。**OL2:**神と一になることの原則は、命の木の原則であつて、善悪知識の木の原則と相対しており、この事は、神の民の二つの基本的な罪を啓示している、エレミヤ2:13で見られます。罪とは、神を捨てて、自分自身で、自分自身のために何かを行なうことです。

OL3:私たちは神の言葉を取り入れ、受け取り、守るために、絶対的に彼と一にならなければなりません。

OL4:ゲダリヤの事例は、神と一にならなかった人の事例です。ゲダリヤは忠信に神の預言者エレミヤを顧みましたが、主の言葉を尋ね求めませんでした。なぜなら、この事は、彼の習慣ではなかったからです。

罪とは、神を離れ、自分自身で、自分自身のために何かを行なうという事柄です。これがまさしく、イスラエルの子たちが行なつたことです。彼らは、彼らの供給のための生ける水の源泉としての神を捨て、彼らの意見にしたがつて、できることは何であれ行ない、自分自身で、自分の享受のために何かを成し遂げました。

マタイ 10:37~38 は言います、「私よりも父や母を愛する者は、私にふさわしくない。私よりも息子や娘を愛する者は、私にふさわしくない。自分の十字架を負つて私について来ない者は、私にふさわしくない」。父、母、妻、子供たちは、人にとって最も大切なものです。彼らは人がこの人生において持つ最も重要なものです。これらが主と比較されない時は、これらを愛することに何の間違ひもありません。しかし、私たちがその二つのどちらかを選択しなければならぬ状況が生じた時、どちらのものを私たちは選択するでしょうか? …私たちは兄弟姉妹を助けて、真に尊いものを知るようにさせなければなりません。私たちは新しい信者たちに尋ねることができます、「あなたはだれを選択しますか?」。もし彼らがこのことについて明確でないなら、将来、誘惑に直面するとき、彼らは負けてしまうでしょう。正しい導きを提供する責任は、私たちの肩の上にあります。私たちは新しい信者に告げなければなりません、「もしあなたが主のために、自分自身とあなたの両親、妻、子供たちとの間に分離の線を引かなければならぬなら、あなたは主を選択するでしょうか? 主のために、すなわち私たちのために死なれた主のために、私たちは彼の弟子となることを選択して、彼に従うべきです」。私たち自身の親族は尊いです。しかし、彼らは主と比べものになりません。私たちの主は、さらに尊い方です。

エレミヤ 15:19 それゆゑ、エホバはこう言われる…もし、あなたが価値のないことを言わず、尊いことを言い出すなら、あなたは私の口のようになる。もし私たちが価値のないことを言わず、尊いことを言い出すなら、私たちは神の口のようになる[言い]ます。もし私たちが物事の正しい価値がわからないなら、神は私たちを拒絶し、私たちを投げ捨てるでしょう。…私たちは、価値観のそのような変化の重要性を見なければなりません。

適用:奉仕者編

あなたは主と一つになって、主に仕えてください。

第一に、あなたは御言葉を祈りの方法で受け取り、命の供給を享受してください。主の御言葉は命のパンであ

り、あなたは主の言葉を毎日食べ、常食とする必要があります。主を食べ飲み享受しないと、あなたは神を捨て、自分自身のために壊れた水ためを掘ってしまいます。

第二に、主の言葉に完全に開き、受け入れて、主と一つになってください。この時、あなたは自分の意見を言うてはいけません。イスラエルの民は、エレミヤを通して語られた神の言葉が、彼らのプランと異なるので、神の言葉を拒絶して、神とエレミヤを罪定めしました。このことは新約の信者に対する警告です。

姉妹の証し:「私は6月に大きな手術を松山市民病院で受けた後、自分一人で生活できなくなり、長男夫婦の勧めを受け入れ、神戸に引っ越してきました。7月に神戸に来て、教会生活を始めてから経験したことを証します。主は言われました、『すべて労苦し重荷を負っている者は、私に来なさい。そうすれば、私はあなたがたに安息を与える(マタイ11:28)』。この安息とは、『完全な平安と満足』です。ここには、すべての面で完全な平安があることを証しできます。今までの生活では、『この面とあの面は良いが、別の面では良くない。しかし、全体的に見れば良い』という事はあつても、あらゆる面で良く、『完全な平安と満足』がある、ということはありませんでした。しかし教会生活には、安息と言ひ尽くせない喜びがあります。『その方を今、…信じており、言葉では言ひ尽くせない、栄光に満ちた喜びをもつて歡喜しています(1ペテロ1:8)』。

聖書を兄弟姉妹と共に読むことで、イエス・キリストは、唯一の神が肉体となつた方であり、十字架で私の罪の身代わりに死に、復活して命を与える霊と成り、私の中に入ることが分かりました。この言葉は信実で、何の弁解の余地もありません。今まで習慣的に、伝統的に持っていた神々が偶像であり虚偽であることが分かりました。しかし、私が住んでいた町ではそれらの偶像を持つことが当たり前なので、『それらに対処しなければならぬが、対処することが難しい』と感じました。心配はありましたが、主の御言葉を食べ飲み享受することで、内側は清められ、強められて、内側の悩みは消え去りました。体の弱さのゆゑに、今すぐ自分で愛媛県松前町に帰り、偶像に対処することはできませんが、心の中ではすでに偶像を完全に対処しました。私は9月の下旬にあつた全国特別集会に参加し、本当に享受しました。エド兄弟は、『クリスチャン生活と教会生活は恵みを享受する生活である』と言われました。教会生活には流れる豊かな恵みがあります。私は自分で頑張るのではなく、ただ主に開いて、主の恵みを毎日享受することが、私のクリスチャン生活と教会生活です。私は、残された人生、日ごとに、教会生活を送り、主を享受し、主で満たされ、主と一つになり、主を証しし、主を表現します! アーメン! ハレルヤ!

祈り:「おお主イエスよ、尊い主の恵みを享受する召会生活を感謝します。毎日、御言葉を祈り読みして食べ飲みし、命の供給を受けます。御言葉に来るときに、主に完全に開き、御言葉を取り入れ、受け取り、守ります。神に対して自分の意見を言うことは、神の言葉を拒絶することです。召会生活の中で、完全な平安と満足を享受し、日ごとに主と一つになり、周りの人々に主を証しし、主を表現することができますように。アーメン!」

CP3: 自分の計画、願望に従ってではなく、主と一になり、
キリストをかしらとし、神・人の生活を訓練し実行する

OL1: イスラエルの失敗と敗北のかぎは、彼らが神の臨在を失っていて、もはや神と一でなかったことでした。私たちは、私たちの神と常に一になるべきです。神は私たちの間にいるだけでなく、私たちの中にもいて、私たちを、神を持つ人、神・人として、**OL2:** 私たちは神・人として、主と一になり、彼と共に歩き、彼と共に生き、完全に彼と共に存在することを実行すべきです。これが、クリスチャンとして歩き、神の子供として戦い、キリストのからだを建造する道です。もし私たちが主の臨在を持ち、主と一になるなら、知恵、洞察力、先見性、事物に関する内なる認識を持つようになります。**OL3:** 神と一にならない者たちは、彼のみこころと大いなる喜びを取り入れず、自分の意見を言い表し、自分の好みを追い求めます。

イスラエルの子たちのかたくなさは、彼らが神と一でなかったことによりました。例えば、残された者[レムナン]のリーダーであるヨハナンは、エジプトに行って避難することを強く決心しました。彼は、バビロン人が来てゲダリヤの殺害に報復することを恐れました。しかし神は、彼らが聖なる地にとどまって、彼の民の残された者となることを願われました。神は彼らを訪れ、彼らを恵み、さらには彼らを用いて、地上における生ける神の証しとしての神の民にしようとされます。しかしながら、彼らは、自分の考慮によって、また自分の意見によって、完全に神を誤解しました。

エレミヤは急いで語るのではなく、十日間待ちました。十日の後、エホバの言葉がエレミヤを通して彼らに臨み、エジプトに行かずユダにとどまるよう彼らに告げました。エホバは言われました、「もし、あなたがたがなおもこの地にとどまるなら、私はあなたがたを建て上げて、倒すことはない。また私はあなたがたを植えて、引き抜くことはしない」(エレミヤ42:10a)。これは、彼が彼らを祝福し、彼らが彼を享受することを示します。しかしながら、もし彼らがこの言葉に聞き従わないで、エジプトの地に行ったなら、彼らはそこで死んだでしょう。この事に関して、エホバは言われました、「もしあなたがたが顔をエジプトに向けて行こうとし、行ってそこに寄留するなら、あなたがたが恐れている剣はエジプトの地であなたがたに追いつき、あなたがたが心配している飢きんはエジプトであなたがたに追い迫り、あなたがたはそこで死ぬ。顔をエジプトに向けてそこに行き、そこに寄留しようとしたすべての人は、剣によって、飢きんによって、疫病によって死ぬ。彼らには生き残る者、私が彼らにもたらす災いから逃れる者はだれもない」(15b-17)。

まずエレミヤは私たちに、神の民の基本的な罪、すなわち神を捨て、自分の水ためを掘ることを示します。次に、人の心が偽り、いやされることがないものであることが徐々に暴露されます。私たちは悪く望みがなく、変えることができない墮落した性質を持っています。私たちは神と一になるために、キリストを私たちの贖いまた義認となるダビデの若枝として必要とします。この事は、三一の神を私たちの中へともたらして、私たちの命、私たちの内なる命の法則、私たちの能力、私たちのすべてとならせます。

適用: ビジネスパーソン・大学院生編

ビジネスパーソンあるいは研究者としてあなたは、主と一つになることを訓練してください。主を持たない人のように、環境によって振り回され、慌てふためいて弱くなり、この世に下って行ってはいけません。**エレミヤ41:17** 彼らはエジプトに行き、そこに入ろうとして、…
18 それは、カルデア人のゆえである。彼らはカルデア人を恐れたのである。FN「エジプトに行き」: イスラエルの民は弱くなり、あるいは困難にあった時、しばしば誘惑されて、エホバのみこころに背き、この世を予表するエジプトに戻り、エジプトを彼らの避難所としました。ユダがカルデア人に包囲された時、エジプトがユダを助けなかったという事実は、神の民がこの世に信頼すべきでないというしるしです。**43:7** エジプトの地に行き(彼らはエホバの御声に聞き従わなかったからである)…。

エルサレムの陥落の後、残されたリーダーたちは不信仰になって、誘惑されエジプトに逃れようとしてきました。しかし神のみこころは、彼らがエジプトではなく、ユダの地に留まることでした。これは、彼らが神のみこころを求めず、自分の感覚に信頼し、エジプトで予表されるこの世に頼ったことを示します。彼らは預言者エレミヤに求めて、彼らの計画を神が支持することを期待しました。神は彼らの計画を明確に否定しましたが、彼らは神に聞き従いませんでした。

例えば、あなたは上司を恐れてあるいは嫌って、転職したいと考え始めました。この時、あなたは主や兄弟姉妹に自分のプランを支持するように求めます。そして、支持されないと憤ります。しかし、あなたは良く考えてください。あなたに対する神のみこころは、神が決めるのであり、あなたが決めるものではありませんし、あなたは神の参謀でもありません。**ローマ11:34** 誰が主の思いを知ったでしょうか? 誰が彼の参謀になったでしょうか? 36 なぜなら、万物は彼から出て、彼を通し、彼に帰するからです。彼に栄光が、永遠にありますように。アーメン。 また、神は何があなたにとって最上であるかを知っていますが、あなたは良く分かっています。なぜなら、あなたはこれからどのようなことが起こるか分からないからです。あなたは、自分の思いに指示されて行動するのではなく、キリストをかしらとし、かしらであるキリストの中へと成長し込む方法で行動してください。**エペソ4:15** 私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。ガラテヤ6:7 欺かれてはなりません。神は侮られるような方ではありません。神に聞き従わずエジプトに行った人たちは必ず、剣によって、飢きんによって、疫病によって死にます。災いから逃れる者は誰もいません。神と一つになることを訓練してください。そうすれば、あなたは主の臨在を持ち、知恵、洞察力、先見性、事物に関する内なる認識を持つことができます。

祈り: 「おお主イエスよ、主に信頼せず、自分の計画、願望に従って歩むというイスラエルの民の失敗と敗北から私は学びます。キリストをかしらとし、彼の中へと成長し込むことができますように。神・人として、主と一になり、彼と共に歩き、彼と共に生き、完全に彼と共に存在することを訓練します。知恵、洞察力、先見性、事物に関する内なる認識を持つビジネスパーソン、研究者となることができますように。アーメン!」